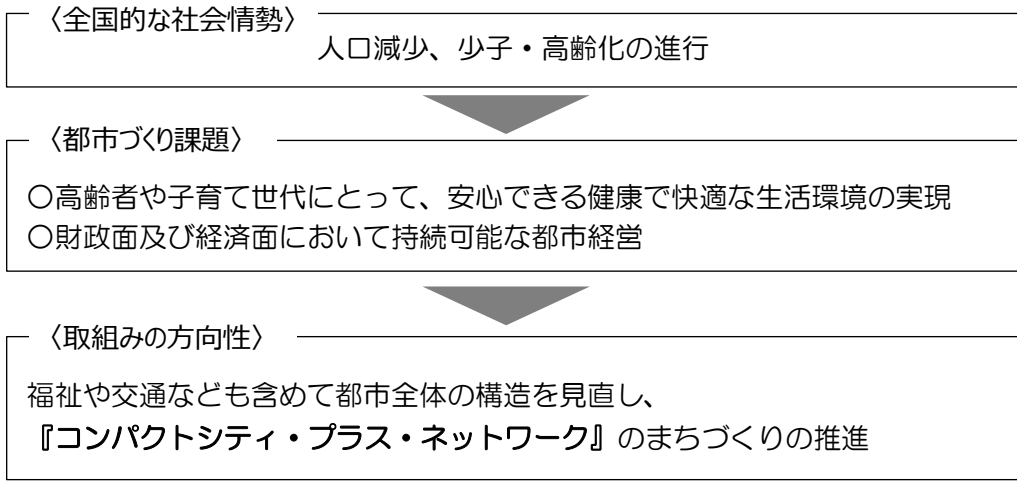


■ 立地適正化計画

○立地適性化計画策定の背景

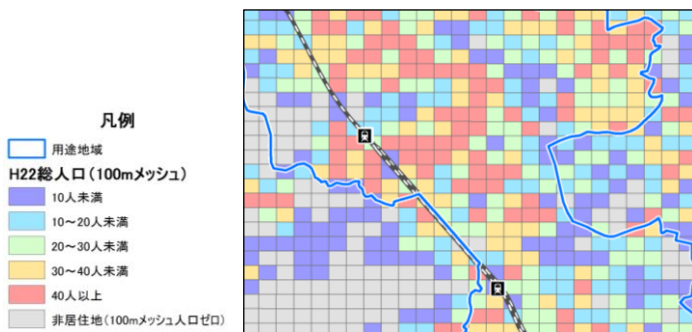


「立地適性化計画」策定支援における弊社の視点：都市の個性を重視した計画づくり

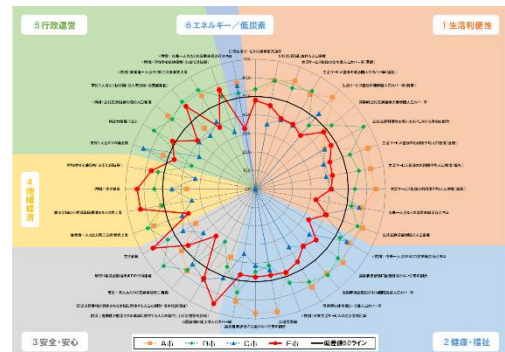
- それぞれの都市には固有の歴史や文化的な背景があり、都市の集約化や効率的な都市づくりに向けた方法論は一概ではありません。そのため、オープンデータを用いた客観的な評価により、その都市の特性を明確化していきます。
- GIS（地理情報システム）の活用により、多くの方がわかりやすい形（都市構造の見える化）で情報を提供することで、その都市の将来のあり方について認識を共有し、検討を進めていきます。
- 関係施策と立地適正化計画が一体となって解決すべき課題を踏まえ、まちづくりの方針を立案し、方針に即して、居住誘導区域、都市機能誘導区域・誘導施設、誘導施策などを検討します。

【都市構造の見える化（可視化）の例】

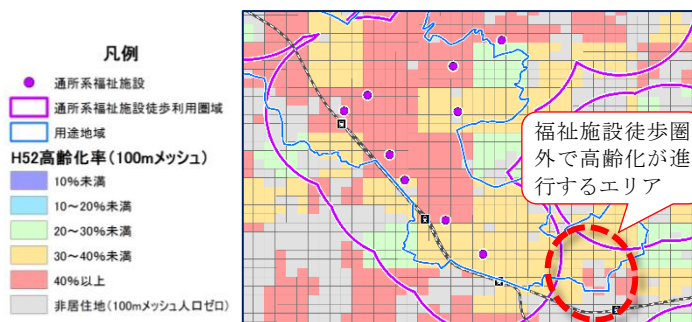
〈100m メッシュ単位の人口分布〉



〈同規模都市との比較による都市構造評価〉



〈将来の高齢化率と福祉施設徒歩圏の重ね図〉



〈将来人口と商業施設徒歩圏の重ね図〉

